

（令和元年 10 月試験研究業務月報）

試験研究課題：中山間地域の稲作を守り支える集落営農組織におけるスマート農業技術の実証（令和元年度「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業」）

情 報

スマート農業の現地実証に関する中間検討会

10 月 2 日に当センターで、農林水産省の委託事業「京都亀岡中山間水稻生産支援スマート農業実証コンソーシアム※」の第二回推進会議（中間検討会）を開催し、実証農家やコンソーシアムメンバー等 29 名が参加しました。

これまでの実証活動の結果、スマート農業機器を導入することで、田植え作業、水管理、病害虫防除の作業時間が削減され、効率化が図られることがわかりました。

また、本技術を実証する農家から出された、スマート農機の課題や要望についての意見に対し、コンソーシアムメンバーの農機メーカーや IT 企業が対応を検討することとなる等、有意義な意見交換となりました。

引き続き、現地に導入する機械等の効果を検証するためのデータ取得に努め、実演会など広報活動も行い、府内の稲作現場への早期の普及を目指します。

※ 京都亀岡中山間水稻生産支援スマート農業実証コンソーシアム

京都府内の中山間地の稲作において、耕耘から収穫までの一貫作業を自動運転トラクタやドローンなどスマート農業技術を用いて省力化、高収量・高品質化を図ることを目的に結成した協議会（民間企業 4 社、大学 1、関係機関（府、市、JA など）8 組織で構成）



実証活動について検討

農 林 セ ン タ ー